



手作りメダルでお出迎え

伊勢市で9月7日から開催された世界新体操選手権に出場する海外の選手団が、9月4日、練習会場の鳥羽市民体育館を訪れ、市民応援団やかもめ幼稚園の園児たちが小旗を振って歓迎しました。

会場に到着したイタリアやイスラエルなどの選手のみなさんに、園児たちが「頑張っね」と声を掛けながら、手作りのメダルをプレゼントすると、選手たちも、笑顔で手を振ったり、抱きしめたりしてかわいい歓迎に答えていました。



こどもたちの防災教育に役立てて

子育て応援!! 0, 1, 2, 3サークルの代表が、8月27日、教育委員会を訪れ、教育長に防災体験マンガ「ぼくの街に地震がきた」11冊を寄贈しました。

これらの本は、同サークル主催の親子防災教室などの活動が評価され、昨年度、「みえの防災大賞」奨励賞を受賞したときの賞金で購入されたものです。

代表の山本さんは、「地震の発生から復興まで、こどもの目線でくわしく描かれたわかりやすい本です。こどもたちに読んでもらいたいですね」と話してくれました。

本は、2学期から市内の全小学校と鳥羽東中学校の図書館に置かれました。

まちの話題 18号



夢に向かって「エイヤッ!」

横浜市で8月28日～29日に開かれた全国小学生陸上競技交流大会の女子ソフトボール投げで、鏡浦小6年の服部洋代さんが準優勝し、9月8日、市長に成績を報告しました。

大会には47都道府県の代表が出場し、服部さんは第1投で60.47mを投げて、見事準優勝に輝きました。

「夢はソフトボールの選手」という服部さんは、「自己ベストが出なかったけど、2位でうれしい」と話してくれました。



清白の家で鳥羽を学ぶ

9月5日、市の人材育成講座「第8期地球塾」の第4回講座が、7月に鳥羽マリパーク内に開館した伊良子清白の家で開催されました。

参加者のみなさんは、当時の生活がしのばれる清白の家の2階で、ミキモト真珠島真珠博物館の松月館長から、講義を受けました。

清白をはじめ江戸川乱歩や梶井基次郎など鳥羽とかかわりのある文学者の作品を通じて近現代の鳥羽の歴史や文化について学んだ後、鳥羽みなとまち文学館を見学し、知識を深めました。